

# 飛驒信用組合

高山市・金融

平成28年度  
認定

女性職員のリーダー職への起用や、嘱託職員から正職員への登用、在宅勤務導入など、多様な働き方を設け、女性の活躍できる場を創出。宿泊補助券や商品券を贈る独自の福利厚生制度で、職員のWLB充実を促す。

従業員数／男性110名 女性119名 計229名 ※平成31年2月現在

## 意欲と能力ある女性を積極活用

飛驒信用組合では、育児休暇から復帰した女性職員を専担者とした「事務改善ワーキングチーム」を組成。これまで主に男性が担ってきた「事務統括責任者」を廃止し、

役職（職務内容）を細分化した「リーダー職」を新設して、事務分野に精通した女性職員を多数起用した。その1人である神岡支店支店長代理の谷口敦子さんは「現在、預金・為替のリーダーとして若手を指導している。子育て中の自分にも重要なポストを与えてもらい、やりがいをもって働いている」と意欲を語る。

また、2016年には嘱託登用制度と正社員登用制度を導入。特に年金担当・内部事務のパート職員に登用が行われ、さらなる女性の活躍が期待されている。

今後、増加が予測されている介護離職を防ぐため、地元事業者と提携した「介護・健康に関する悩み相談ホットライン」もスタートした。加えて現在、在宅勤務が可能となるパソコン遠隔ツールを役員・管理職にて一部導入。育児や在宅



育児から復帰した女性3名で活動する「事務改善ワーキングチーム」は、女性のダイバーシティやキャリアパスに取り組む。



「リーダー制の導入はキャリアパスも明確化され、目標がはつきりとした」と語るのは、リーダーとなった神岡支店支店長代理の谷口敦子さん（右）。

介護の必要な職員に導入が検討されており、家庭と仕事の両立や人材活用に向けた、多様な取組みが展開されている。